

9/14 5:00

ワクチン2回5割超す

接種率 64歳以下まだ3割

新型コロナウイルスのワクチン接種で、2回目を終えた人の割合が12日時点で全人口の5割を超えた。高齢者では9割に迫る一方、64歳以下は3割ほどにとどまる。感染力の強いデルタ株の広がりで、「集団免疫」による感染防止は当面難しく、収束が見えない状況が続く。▼2面Ⅱ医療逼迫なお、30面Ⅱ出前「接種

専門家「集団免疫は困難」

18日に更新された首相官邸のホームページによると、12日時点で2回目の接種を終えた割合は50・9%、1回目の接種を終えたのは68・0%だった。このうち、65歳以上の高齢者の割合は88・0%が2回接種を終えていた。ただ64歳以下では、2回目接種を終えたのは29・5%、1回目接種は48・6%だった。

新型コロナウイルスについて、都道府県別の2回目接種率

都道府県	接種率 (%)
北海道	47.8
青森県	51.3
岩手県	48.0
宮城県	48.5
秋田県	56.1
山形県	56.9
福島県	51.8
茨城県	49.3
栃木県	43.6
群馬県	56.9
埼玉県	44.0
千葉県	46.6
東京都	50.2
神奈川県	46.0
新潟県	53.3
富山県	50.2
石川県	54.0
福井県	56.4
山梨県	47.5
長野県	49.0
岐阜県	52.8
静岡県	46.8
愛知県	45.6
三重県	48.9
滋賀県	48.4
京都府	46.6
大阪府	46.0
兵庫県	49.2
和歌山県	52.0
鳥取県	58.9
徳島県	54.6
香川県	53.1
岡山県	52.8
広島県	51.7
山口県	61.8
徳島県	55.4
香川県	49.3
高松市	61.8
愛媛県	56.7
高知県	50.7
福岡県	55.3
佐賀県	57.2
熊本県	58.9
大分県	52.0
宮崎県	49.8
鹿児島県	52.1
沖縄県	42.7

日本より接種が先行した欧米では、全体の2回目接種率は5〜6割程度で頭打ちとなる傾向が続いている。英オックスフォード大学の研究者らによる「アワールド・イン・データのまとめでは、11日時点で、2回目接種を終えた割合は英国が約64%、フランスが約62%、米国が約58%。頭打ちの背景には、若年層への接種が進まないことが挙げられる。

日本国内のワクチン接種をめぐっては、8〜7月にかけて、自治体へのワクチンの供給不足が顕在化し、企業や大学の職域接種では申請受け付けが停止するなど混乱もあったが、「1日100万回」接種のペースは維持している。

コロナ対策を担当する西村康稔経済再生相は12日、NHKの報道番組で「このペースが順調に進めば、今月末には2回目接種される方は6割を超えてくる」との見通しを示した。政府は若への2回目接種を終える方針を掲げており、若年層を含めた接種のペースが維持できるかが焦点となる。

当初、期待された集団免疫について、専門家がつくる政府分科会は「すべての希望者が接種を終えたとしても集団免疫の獲得は困難」との見方を示す。厚生労働省は、3回目の接種の必要性について検討している。

(宮田政考、森岡勉平)

9/14
7月16日

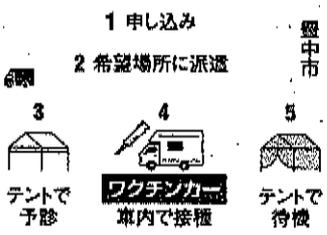


ワクチンカーの車内で接種を受ける市民
11月13日午前、大阪府豊中市

大阪・豊中 育児中など 若年層狙う

ワクチンカー「出前」接種

新型コロナウイルスのワクチン接種で、大阪府豊中市が13日、キャンピングカーを改造した「ワクチンカー」を市民の希望する場所に派遣し、車内で接種する取り組みを始めた。育児中で遠くの接種会場まで移動しにくい親などを想定し、40代以下の若年層への接種を加速する狙いがある。



大阪府豊中市の「ワクチンカー」のイメージ
接種希望者（24人以上の団体）
1 申し込み
2 希望場所に派遣
3 テントで待機
4 ワクチンカー車内で接種
5 テントで待機

13日午前、市内の寺にワクチンカーが到着した。近くの商店街から集まった店主や家族らが相次いで、テントで医師による予約を受けた後、車内でファイザー製ワクチンの接種を受けた。車内には臭いが悪くなった場合に備え、ベッドや酸素ボンベもある。接種を終えた人は車外で、副反応の経過観察のため約15分待機した。約3週間後に2回目の接種を同じ場所で行われる予定だ。

新型コロナウイルス感染者 (13日午後8時現在)

国内の確認 164万5354人(+4171) 死者 1万6865人(+50)

都道府県	感染者	死者	感染者	死者
北海道	14118	146	191013	2375
青森県	4359	6	4359	1669
岩手県	5165	33	14772	144
宮城県	3397	50	5056	56
秋田県	15737	108	1596	5
山形県	1780	26	1521	2
福島県	3419	53	14754	133
茨城県	9266	173	20785	181
栃木県	23088	709	5424	88
群馬県	14546	106	3114	64
埼玉県	16121	169	4575	34
千葉県	110662	950	4947	81
東京都	96000	947	3967	31
神奈川県	368834	2773	6002	353
新潟県	162659	1490	5605	29
富山県	7398	58	5779	71
石川県	4684	45	13812	131
福井県	7624	123	7790	74
山梨県	2860	36	5955	36
長野県	4911	28	8863	58
岐阜県	8412	95	47771	775
静岡県	17388	207	4214	7
愛知県	25097	194	その他(空港検疫など)	
岐阜県	100462	1079	4214人(+10) 死者7人	
愛知県	14162	149		
三重県	11891	97		

19都道府県、緊急事態延長
新型コロナウイルス対策の緊急事態宣言が18日、大阪など19都道府県で9月30日まで延長された。大阪府などに関与しては、4度目の宣言での2度目の延長になる。石川など8県はまん延防止等重点措置の対象地域でも行動制限の緩和を目指している。

接種率向上 制限緩和の鍵
若年層の接種をめぐっては、東京都渋谷区の接種会場で当初、事前予約不要・先着順とし、希望者が殺到して「密」になったことが批判された。保健所の担当者は「密」にならないよう、最大限配慮した」と話す。問い合わせは、とよなかワクチンダイヤル(06・6161・2511)。(細見聖也)

入院・療養中 12万3929人(-9743) うち重症 1976人(-35)
退院・療養解除 149万6160人(+1万7401) (13日午前0時現在)

総数: 164万6077人(+4171) 死者: 1万6868人(+50)

総数にはダイヤモンド・プリンセス乗船者を含む。自抜きは「緊急事態宣言」、網掛けは「まん延防止等重点措置」の地域。カッコ内は前日最終集計との比較。都道府県と厚労省の発表は一部重複する。再陽性は延べ人数で計上。

■ワクチン接種 (12日、医療従事者は除。接種回数(年齢不明含む))

	1回目	2回目
総接種数	7079万3196(55.9%)	5653万6926(44.6%)
高齢者	3207万2448(89.7%)	3146万1748(88%)
64歳以下	3844万6702(42.3%)	2486万0996(27.4%)